



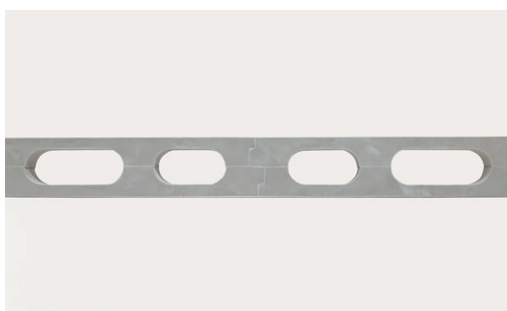
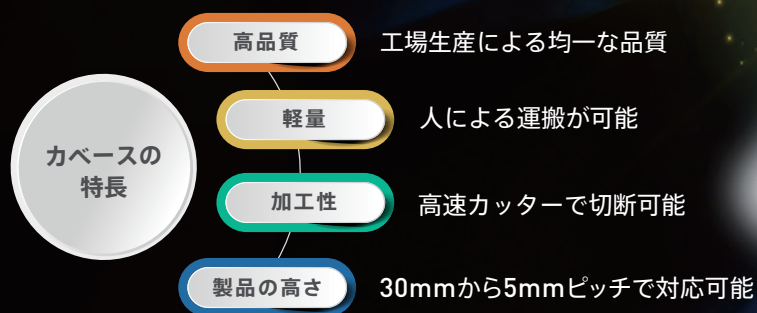
CABase カベース
Connect All Base

**CABaseは、施工スピードの短縮とローコスト化を図るため
独自に開発した製品です。**

あらゆる壁等の立上り基礎材にご使用ください。

在来工法と比較すると、質・手間・コストにおいて

トータル的な差別化が可能です。



CABaseをセットしてスラブコンクリートを打設する先付けでの施工方法と、スラブコンクリート打設後にCABaseをセットしモルタル充填を行う後付けでの施工方法があります。

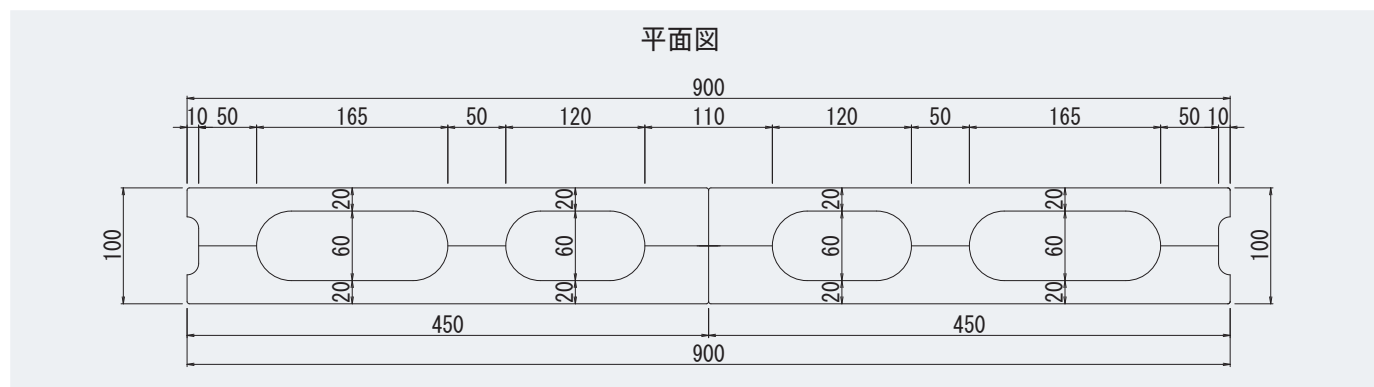
軽量のため、現場での加工が容易となり施工性に優れています。(多能工で施工可能)

■ 押出形成ブロック物性値

項目	物性値	備考
気乾密度	1.74g/cm ³	20℃60%1 週間
絶乾密度	1.64g/cm ³	105℃恒量
曲げ破壊荷重	3.43kN	JIS A1106 準拠
圧縮強度	43.6N/mm ²	JIS A1108 準拠
長さ変化率	-0.15%	20℃48 時間浸漬 30℃30%14 日乾燥 JIS A 1129-1 5 準拠
付着強さ	1.8N/mm ²	JIS A 6021 6.11 準拠
線膨張率	10.7×10 ⁻⁶ /K ⁻¹	JIS A 1325 準拠

※一般財団法人建材試験センターにて実施

■ 規格・寸法



■ 工程比較 (例)

在 来 型 枠 工 法	工 程	CABase (カベース)
墨出し工事、鉄筋組立、型枠加工、組立工事	1 日 目	CABase 加工、墨出し工事、 CABase 金物セット工事、 散水
	2 日 目	
コンクリート打設	3 日 目	コンクリート打設 ※もしくは指定強度以上のモルタル等
コンクリート養生	4 日 目	補修、清掃等
	5 日 目	
解体・搬出作業、ハツリ、左官補修	6 日 目	短縮

■ カベース後施工 (設置例)

① 墨だし

② カベースカット

③ まくばり

④ アンカー打設

⑤ モルタル敷き込み

⑥ カベース設置

⑦ モルタル注入

⑧ 完成

※このチラシの掲載内容は2023年4月1日現在のものです。※製品改良のため、仕様及び外観の一部を予告なく変更する場合があります。



株式会社 内外テクノス

<https://www.naigai-technos.co.jp/>



大阪商事事業部
〒540-0031
大阪府大阪市中央区北浜東6-9 ルポンドシエルビル5階
TEL : 06-4300-4681 FAX : 06-6943-0220

東京商事事業部
〒102-0074
東京都千代田区九段南3丁目3-6 麹町ビル6階
TEL : 03-6265-6264 FAX : 03-6265-6280